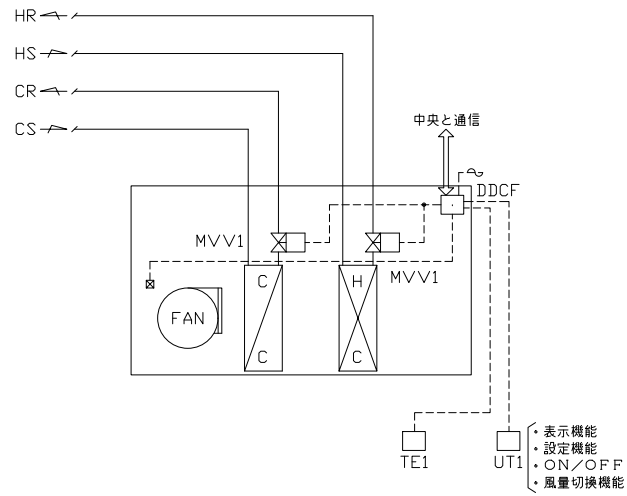


設備記号	階数	系統	セット数	TE1	UT1	DDCF	MVV1	収納盤	備考
FCC-2Dd	2	診察室前室	1	1	1	1	2	既存1RCP-1	
FCC-2Dd	2	診察室No. 4	1	1	1	1	2	既存1RCP-1	
FCC-2Dd	2	診察室前室	1	1	1	1	2	既存1RCP-1	
FCC-2Dd	2	診察室No. 5	1	1	1	1	2	既存1RCP-1	
		合計	4	4	4	4	8		



- 制御項目
- 室内温度制御  
室内温度により小型比例弁の比例制御を行う。
  - ファンコイル発停制御  
室内設定器 (UT1) によりファンコイルユニットの発停を行う。
  - ファンコイル停止時のインターロック制御  
ファン停止時にバルブを全閉とする。
  - 中央監視システムとの通信  
(発停・設定・計測)

(注記) 1. DDCF, MVV1 はファンコイルメーカーへ支給し、ファンコイルメーカーにて取付け配線の上、現場へ搬入する。  
(取付、ファンコイル内部の配線工事はファンコイルメーカー工事区分)  
2. ファン発停及び、風量切換 (LMH) 機能は室内設定器 (UT1) が持つものとする。

- 表示機能
- 設定機能
- ON/OFF
- 風量切換機能

自動制御機器表

記号	名称	形番	備考
DC	DC24V電源	RYY792D	
DDCF	FCUコントローラ	WY5205W*	比例
dP1	差圧スイッチ	PYY-604	二位置
dPI	差圧表示器	R36	
dPIC2	差圧指示調節器	R15TC0	比例
KMD	ダンパ操作器	MY6050A	二位置
MVV1	ファンコイル用電動2方ボール弁	VY5502A+MY5560C	比例
R	補助リレー	R	
SPE1	高精度微差圧センサ	PY9000D	
TE1	室内用温度センサ	TY7043Z	Pt100Ω
Tr1	トランス	AT72-J1	
UT1	デジタル設定器	QY7205A	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法			収納系統名	備考
		W	H	D		
差圧表示器1	壁掛	400	400	250	室間差圧表示	診察室No. 4設置
差圧表示器2	壁掛	400	400	400	室間差圧表示	診察室No. 5設置
既存1RCP-1	既存				OHU-01-01	既存盤改造

凡例

- AC100V or 200V
- インターロック
- 現場盤内取付機器
- ボックス内取付機器
- 監視盤との信号受渡し

訂正	.
	.
	.
	.
	.

■CAV系統表

Table with columns: 対象設備, 延長CAV, 延長CAV, 延長ファン, 台数, 機種, 電子式, DDCF台数, UT1台数, 備考. Lists various HVAC equipment and components.

撤去

撤去

■ファンコイル系統表

Table with columns: 機種番号, 階, 系統, 管, 台数, DDCF台数, MVV1台数, TES台数, UT1台数, 備考. Lists fan coil units and their specifications.

自動制御機器表

機器記号	名称	型番	仕様概要	備考
DC	DC24V電源	RYY792D		
DDCF	FCUコントローラ	WY5205	ON/OFF(FCU-CFU),比例(RH)	FCU-CFU-RH制御用
dPIC1	差圧指示調節器	R15TC0		
KMD	ダンパ操作器	MY6050A		気密ダンパ
SPE1	微差圧発信器	PY9000D		
TE3	ユニット用温度センサ	TY7820Z	Pt100Ω	
UT1	デジタル設定器	QY7205A		

凡例

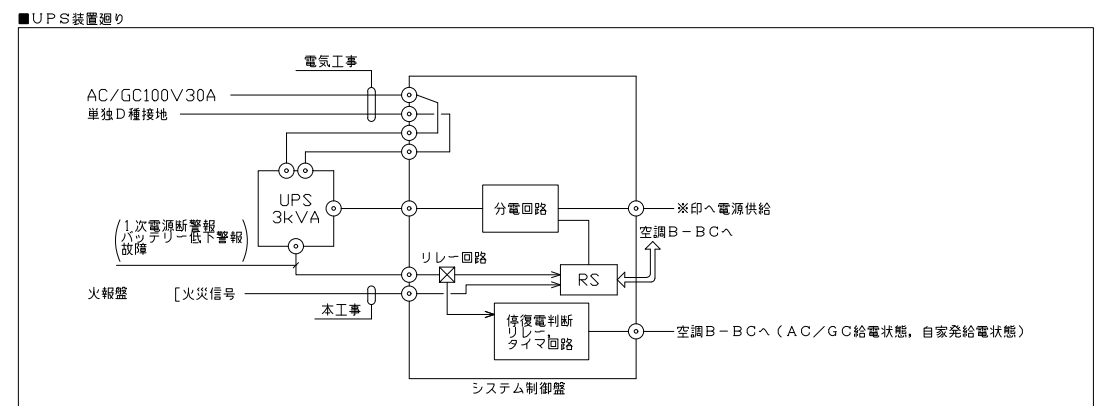
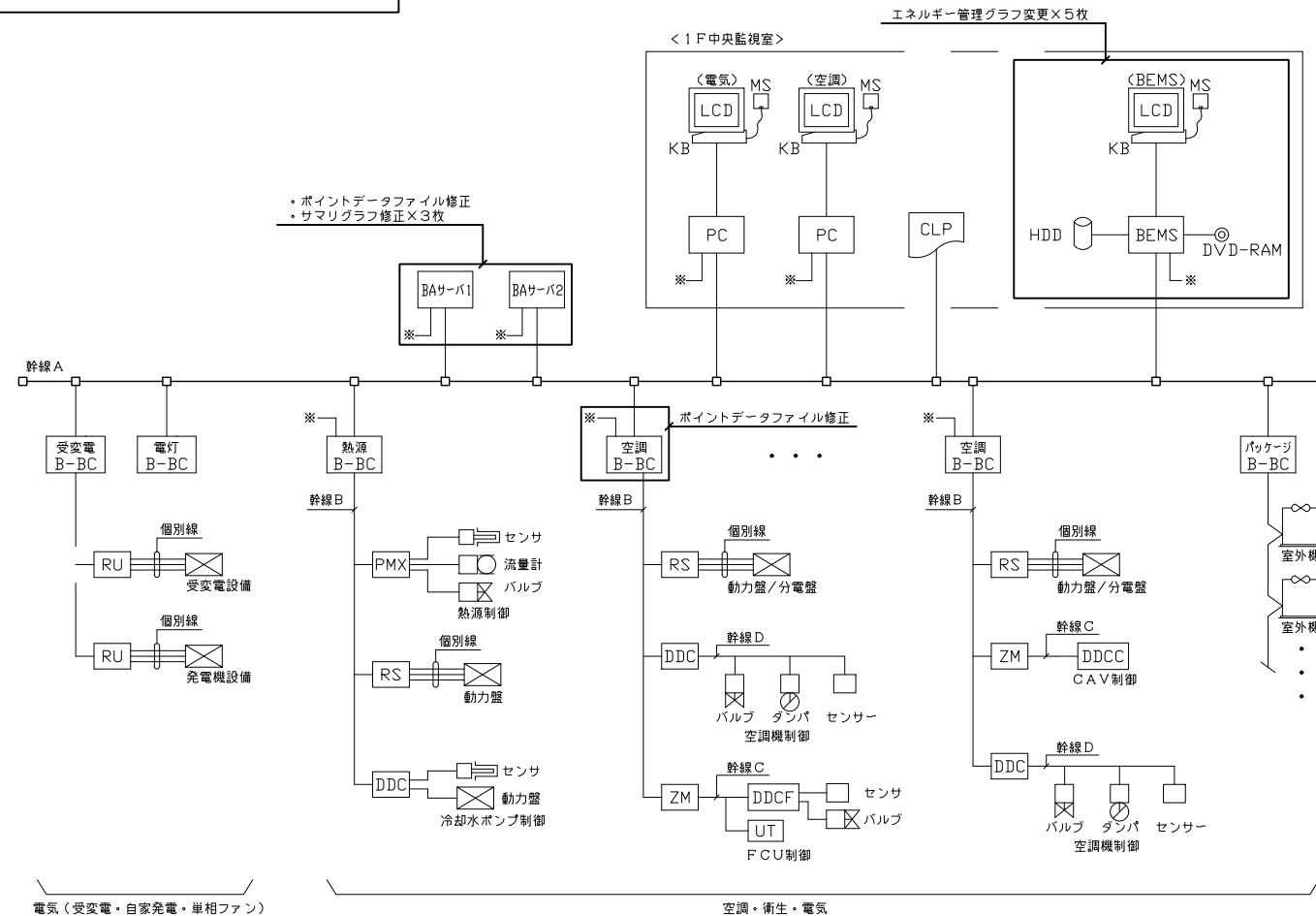
- ~--- AC100V or 200V
- インターロック
- ☒ 現場盤内取付機器
- ボックス内取付機器
- ◀ 監視盤との信号受渡し

設備記号	名称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	操作		表示		計測			備考
					設定	オン/オフ	状態	警報	温度	湿度	その他	
■■■ 削除ポイント ■■■												
	1階 隔離室1 室間差圧	1RCP-1		RS							1	ポイント名称変更
	1階 隔離室2 室間差圧	1RCP-1		RS							1	ポイント名称変更
	1階 隔離室1 (陰圧) FCU	1RCP-1		DDCF	1							
	” 室内温度・設定	1RCP-1		DDCF	1			1				
	1階 隔離室2 (陰圧) FCU	1RCP-1		DDCF	1							
	” 室内温度・設定	1RCP-1		DDCF	1			1				
	1階 隔離廊下 FCU	1RCP-1		DDCF	1							
	” 室内温度・設定	1RCP-1		DDCF	1			1				

訂正	・
	・
	・
	・
	・

<システム概要>  
 (1) 中央監視装置を1台及びビルマネジメントシステムを1台設置し、空調・衛生・電気設備の監視を行う。  
 本システムでは他設備との機能連携及び将来の増設・改修を容易にするためにオープンプロトコルを採用する。上位設備間通信: BACnet (IEE J-G-0006:2006 (アテンダムo含む) 相当)  
 ※通信プロトコル詳細仕様は施工請負者及び中央監視装置納入メーカ等により決定していくこととする。  
 (2) 中央監視装置と各サブシステムのマンマシンにおける役割分担は、以下の考え方に基づくものとする。  
 [中央監視装置]  
 各設備機器に関する日常設備運転管理業務に関わる運用を行う。(警報監視、他設備間連携動作確認、スケジュール管理、等)  
 [熱源・空調・パッケージB-BC]  
 設備毎の監視、詳細な制御・設定などの管理を行う。

<改修内容>  
 改修工事に伴い以下の作業を行う。  
 ・ポイントデータファイル変更(中央管理点入出力一覧表参照)  
 ・サマリグラフ修正×3枚  
 ・BEMSエネルギー管理グラフ変更×5枚

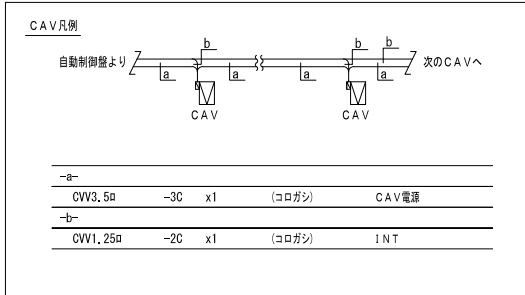
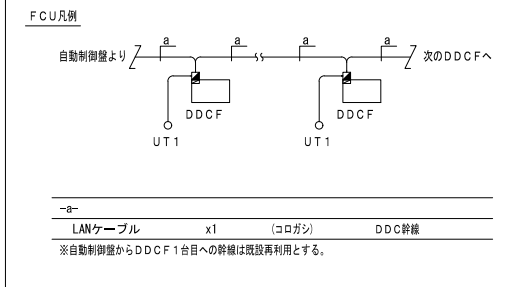


設備記号	名称	自動制御盤	信号取合先	リモート種別	設定	操作	表示	計測	備考
■■■ 追加ポイント ■■■									
1階	診察室No. 4 室温差圧	既存IRCP-1		RS				1	ポイント名称変更
1階	診察室No. 5 室温差圧	既存IRCP-1		RS				1	ポイント名称変更
1階	診察室4 FCU	既存IRCP-1		DDCF	1				
	室内温度・設定	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
1階	診察室4前室 FCU	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
	室内温度・設定	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
1階	診察室5 FCU	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
	室内温度・設定	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
1階	診察室5前室 FCU	既存IRCP-1		DDCF	1	1			
	室内温度・設定	既存IRCP-1		DDCF	1	1			

機器凡例				
シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	UT 1	LANケーブル x 1	(PF16)	
∅	KMD	OV1.25a -3C x 1	(コロガシ)	
○	dP 1	OV1.25a -2C x 1	(コロガシ)	
⊗	SPE 1	OV1.25a -2C x 1	(コロガシ)	

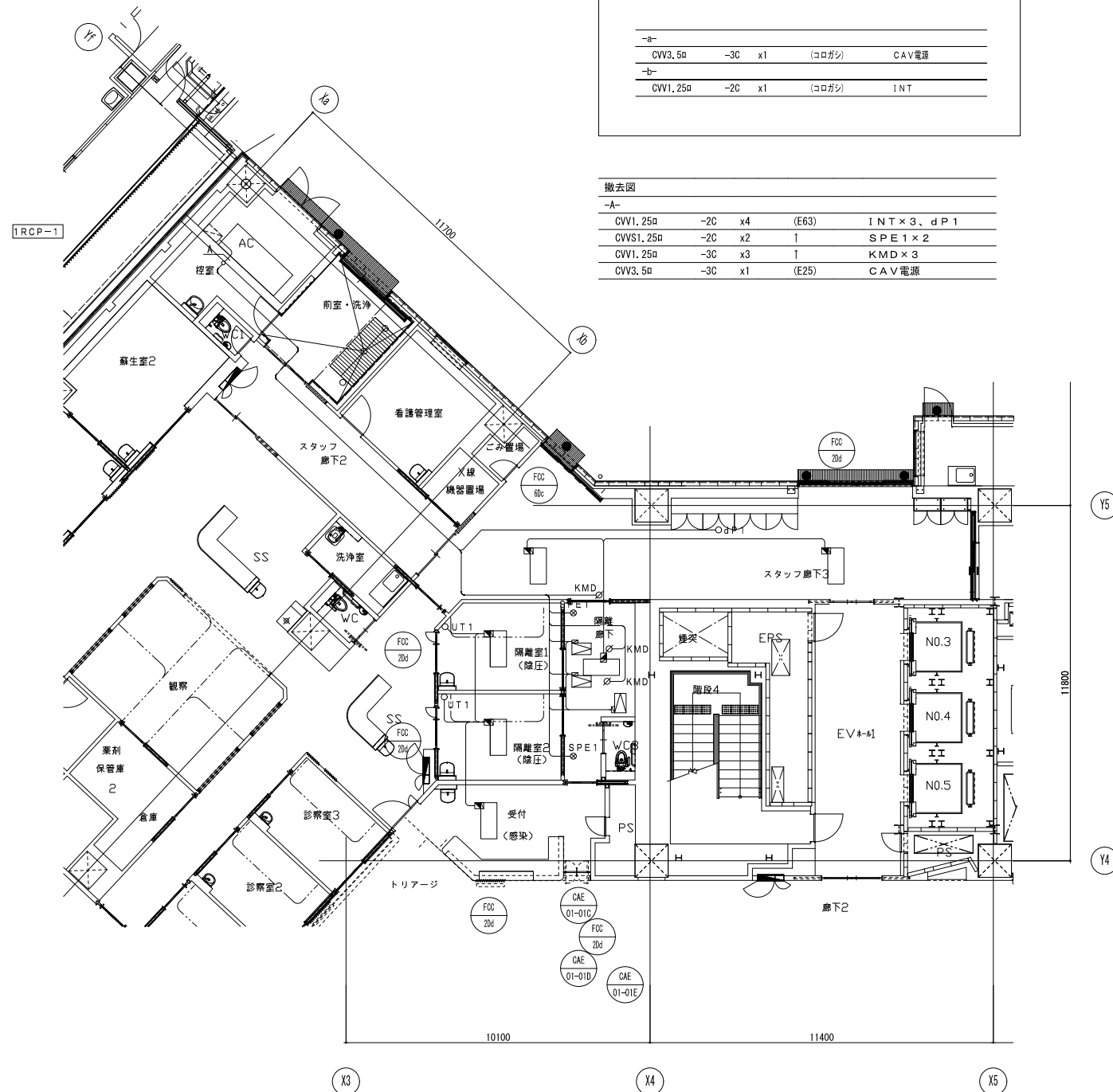
記号凡例	
平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ケーブル配線

(特記)  
 ・ 図中の自動制御機器及び配管記線の撤去を行う。



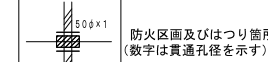
撤去図

記号	内容
-A-	OVV1.25a -2C x4 (E63) INT x 3, dP 1
OVV1.25a -2C x2	SPE 1 x 2
OVV1.25a -3C x3	KMD x 3
OVV3.5a -3C x1 (E25)	CAV電源

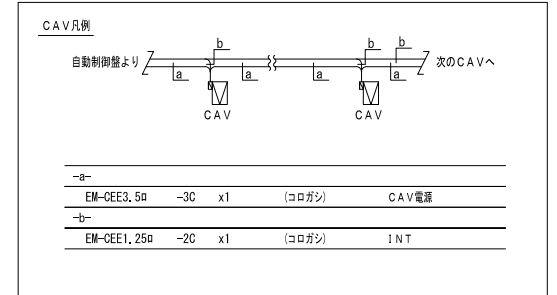
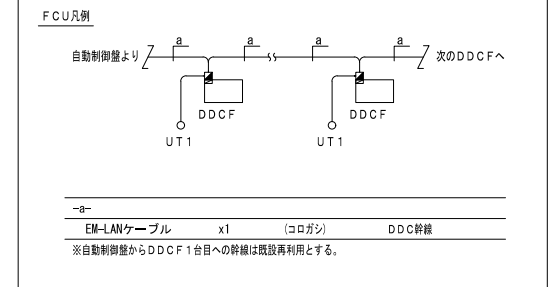


機器凡例				
シンボル	記号	配線	配管	
			(屋内)	(屋外)
○	TE 1 (E)	EM-LANケーブル x 1	(MMA)	
○	TE 1	EM-LANケーブル x 1	(PF16)	
○	UT 1	EM-LANケーブル x 1	(PF16)	
∅	KMD	EM-CEE1.25a -3C x 1	(コロガシ)	
○	dP 1	EM-CEE1.25a -2C x 1	(コロガシ)	
⊗	SPE 1	EM-CEE1.25a -2C x 1	(コロガシ)	

記号凡例	
平面図記号	内容
—	露出配管
—	天井内ケーブル配線

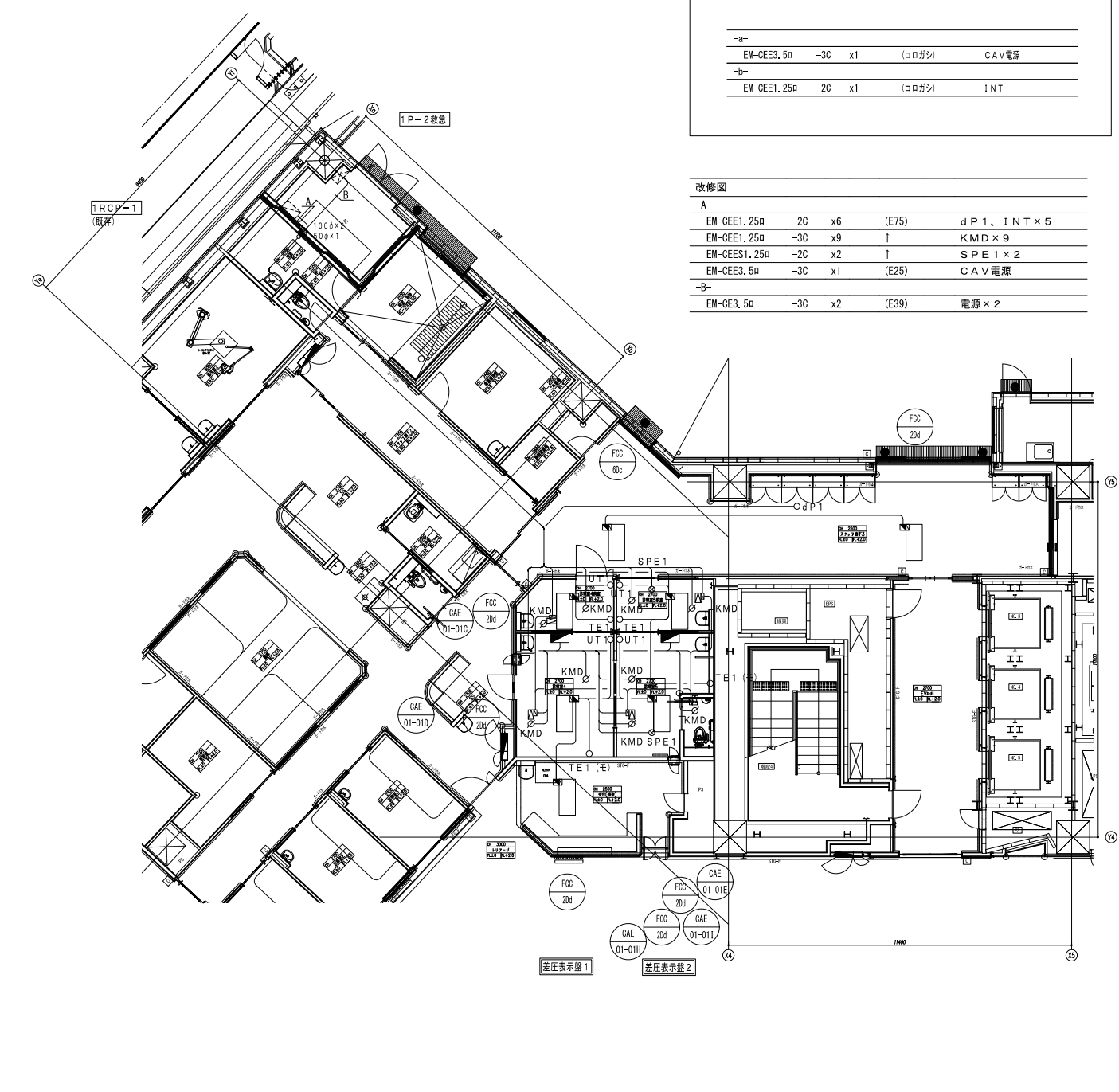


(特記)  
 ・ 天井内はケーブルコロガシとし、室内サーモ・スイッチ類及び壁への立ち下りは配管を使用する。  
 ・ TE 1 (E) の機器への立ち下りはメタルモールA型とする。

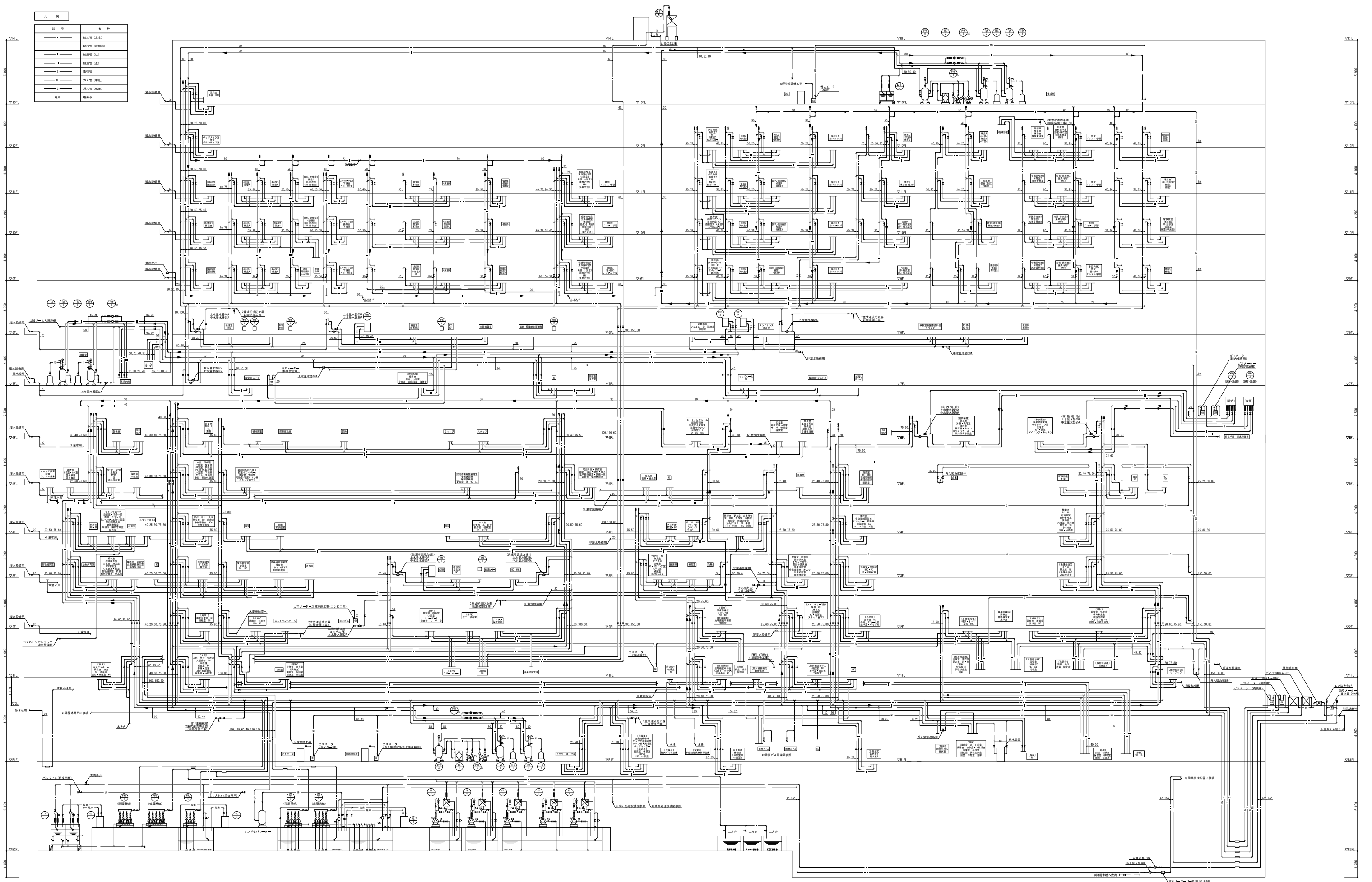


改修図

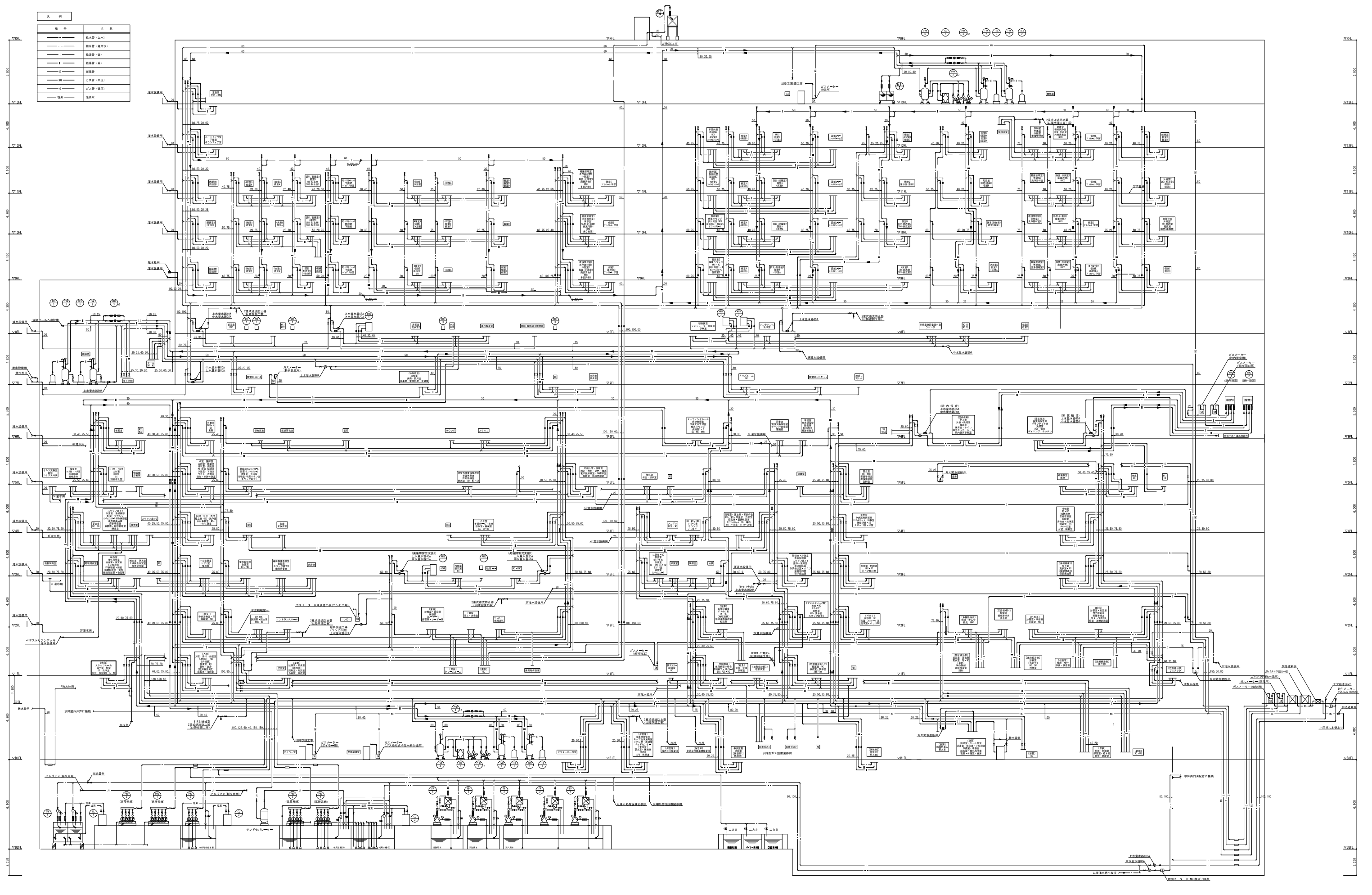
記号	内容
-A-	EM-CEE1.25a -2C x6 (E75) dP 1, INT x 5
EM-CEE1.25a -3C x9	KMD x 9
EM-CEE1.25a -2C x2	SPE 1 x 2
EM-CEE3.5a -3C x1 (E25)	CAV電源
-B-	EM-CEE3.5a -3C x2 (E39) 電源 x 2



記号	名称
—	給水管 (上水)
—	給水管 (雑用水)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)
—	給水管 (給)

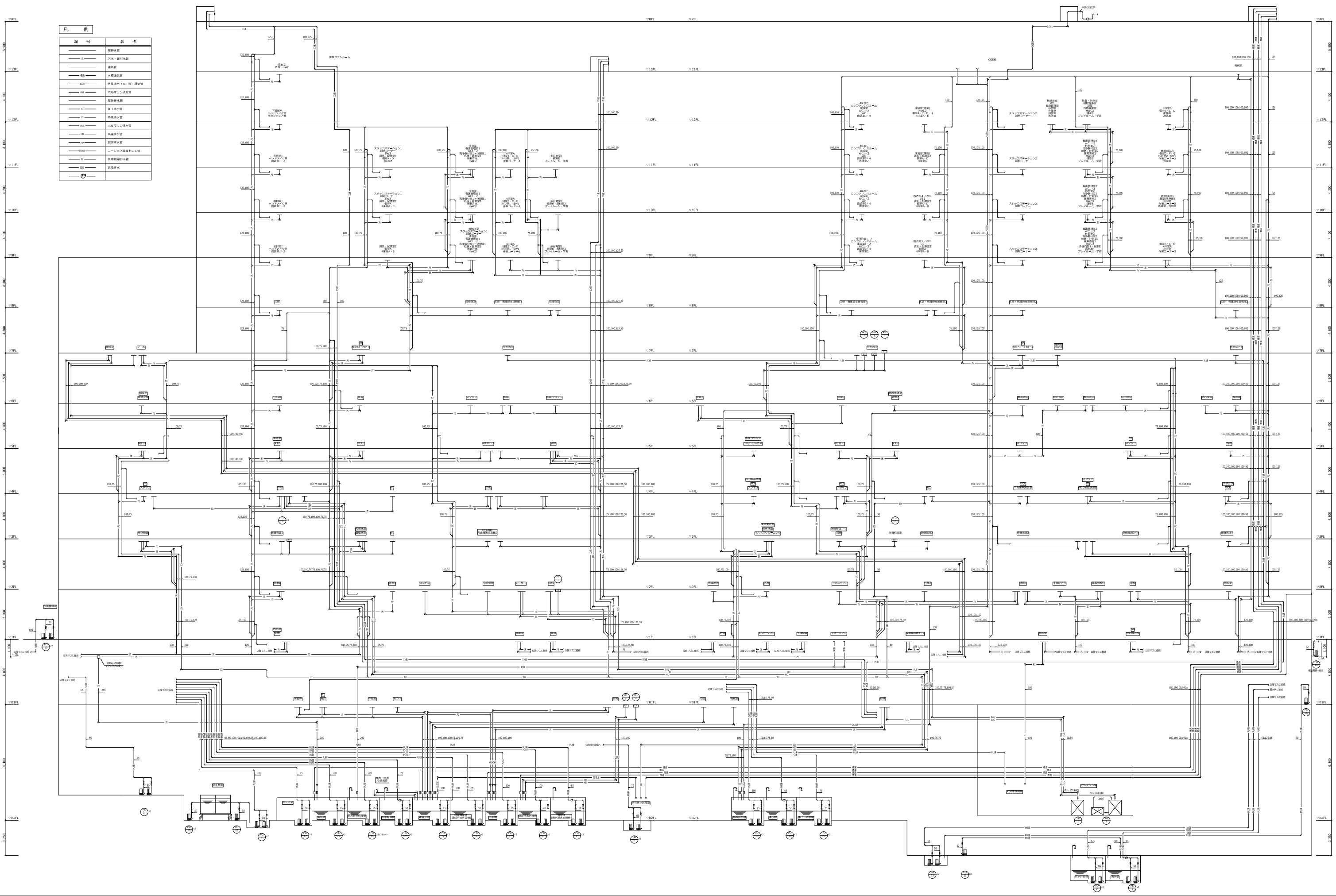


種別	名称
---	給水管 (上水)
---	給水管 (雑用水)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)
---	給水管 (湯)



訂正 . . . .	<b>KUME</b> <b>株</b> <b>会</b> <b>社</b> <b>久米設計</b>	日付 2022年8月31日 PA 小西 剛 検印 署名 橋井可奈	名称 22小児医療センター ER降圧診療室改修工事 系統図 上水・雑用水・給湯・ガス(改修)	図号 A1判- A3判- PL-02	計画書 0210354 図番書 PL-02
------------------------	--	--	---	--------------------------	--------------------------

記号	名称
○	排水栓
○	汚水・雑排水
○	雑排水
○	水漏れ排水
○	特種排水 (R1) 流注管
○	洗面・トイレ排水
○	屋外排水
○	R1排水
○	特種排水
○	洗面・トイレ排水
○	雑排水
○	雑排水
○	コージェネ排熱排水
○	気体冷却排水
○	雑排水



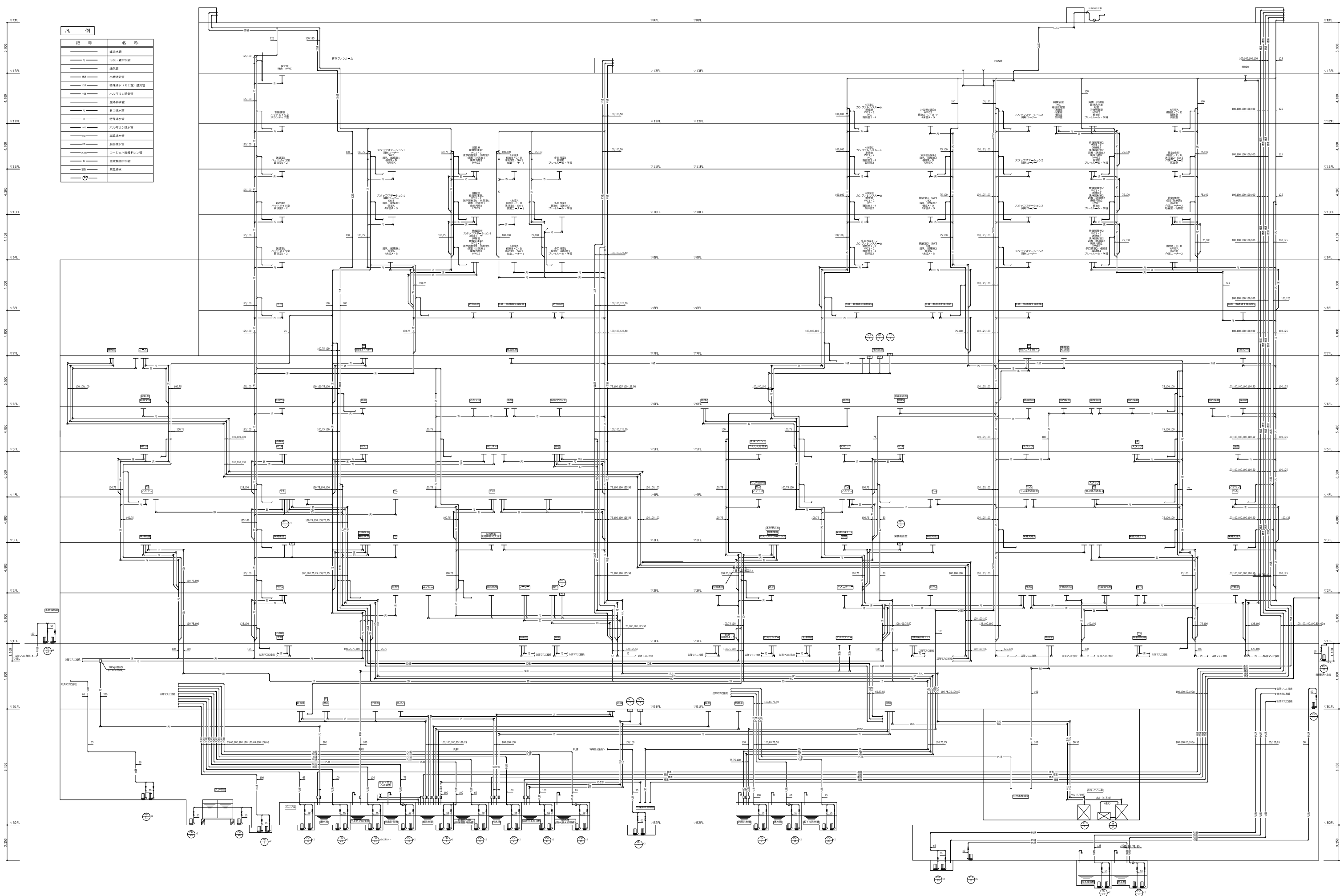
訂正	・
	・
	・
	・

**KUME**  
**SEKKEI** 株式会社 久米設計

日付 2022年8月31日  
PA 小西 剛 検印  
概略 梶井可奈

名称 22小児医療センター ER陰圧診療室改修工事 設計番号 0210354  
図名 系統図 排水・通気(撤去) 縮尺 A1判 - A3判 - 図番 PL-03



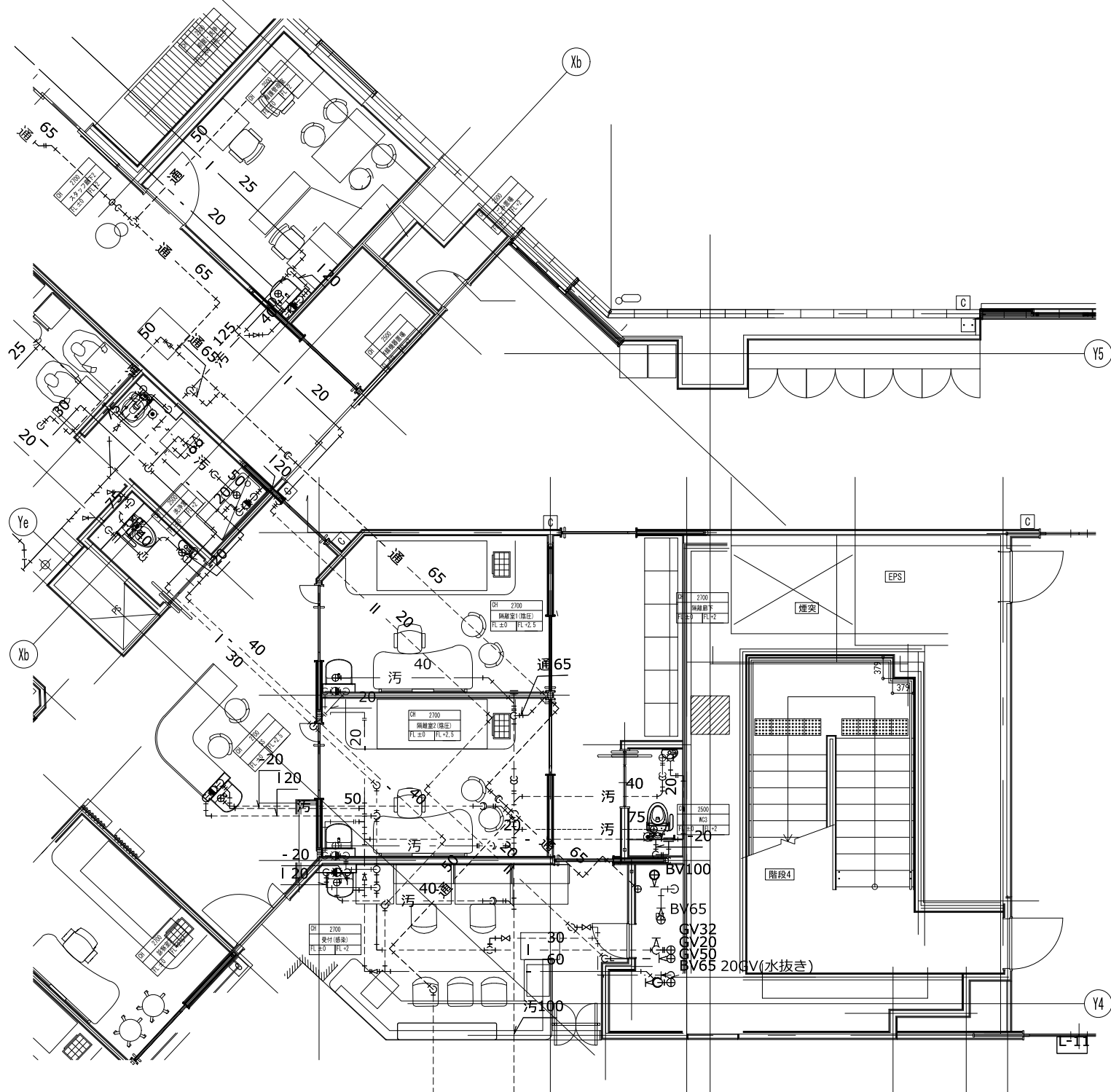


記号	名称
○	雑排水
○	汚水・雑排水
○	洗面水
○	手洗水
○	排水水(ボイラ) 湯気
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ
○	排水水
○	ボイラ

撤去器具

名称	仕様	備考	台数
手洗器(自動水栓)	スタッフ用手洗器(オーバーフロー無)壁付サーモスタット自動水栓(発電)排水フランジレス	LS850BPA. フランジレス, 他付属品一式	2

※既存配管床貫通部の穴埋めは本工事とする



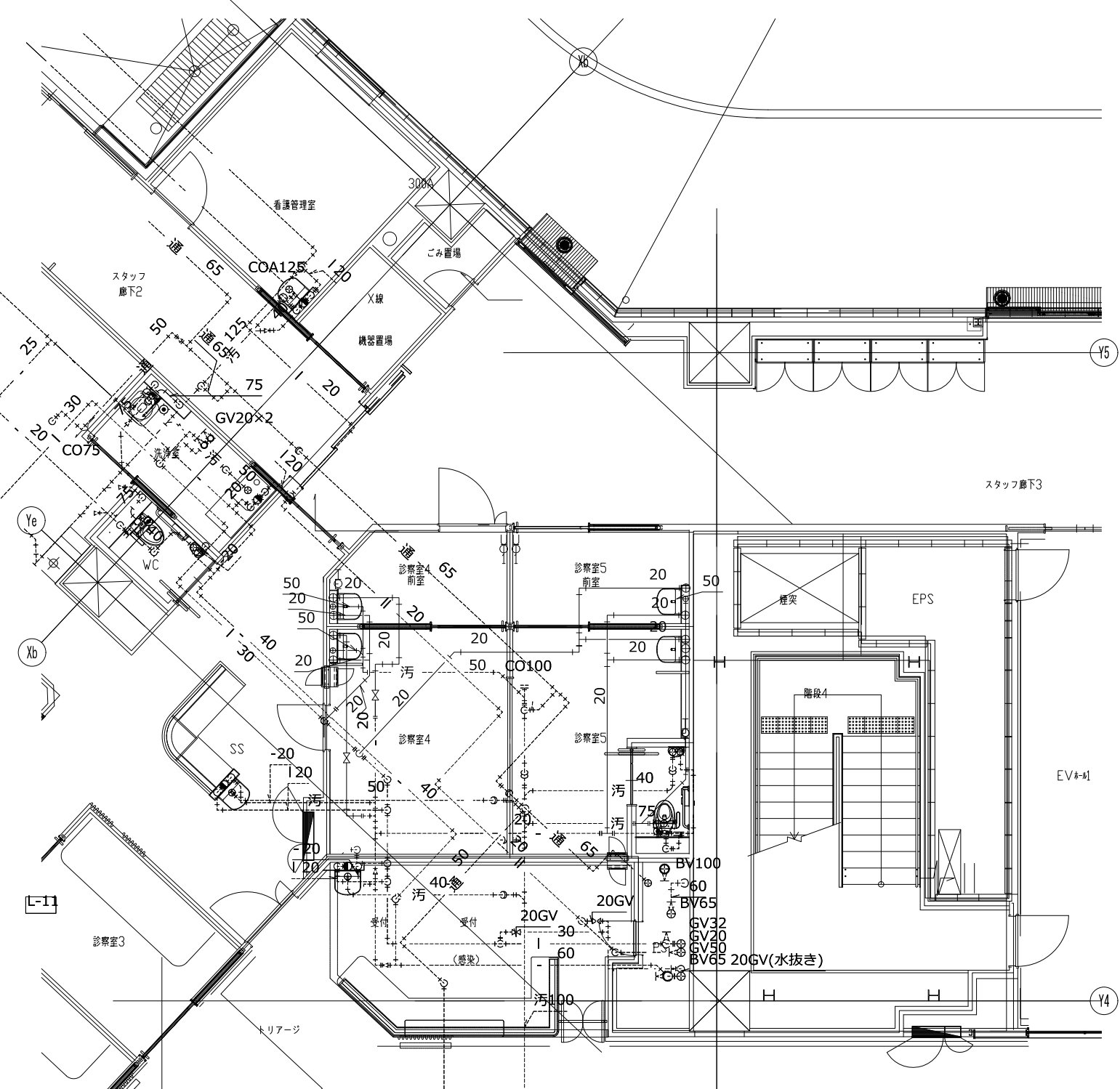
1階平面図(撤去)

※破線(細線)を既存配管、実線(太線)を撤去配管とする。

新設器具

名称	仕様	備考	台数
手洗器(自動水栓)	スタッフ用手洗器(オーバーフロー無)壁付サーモスタット自動水栓(発電)排水フランジレス	LS850BPA. フランジレス, 他付属品一式	4

※新設配管床貫通部のはつり工事の際は鉄筋探査を行う  
(床はつり 30A×8箇所 75A×3箇所)



1階平面図(改修)

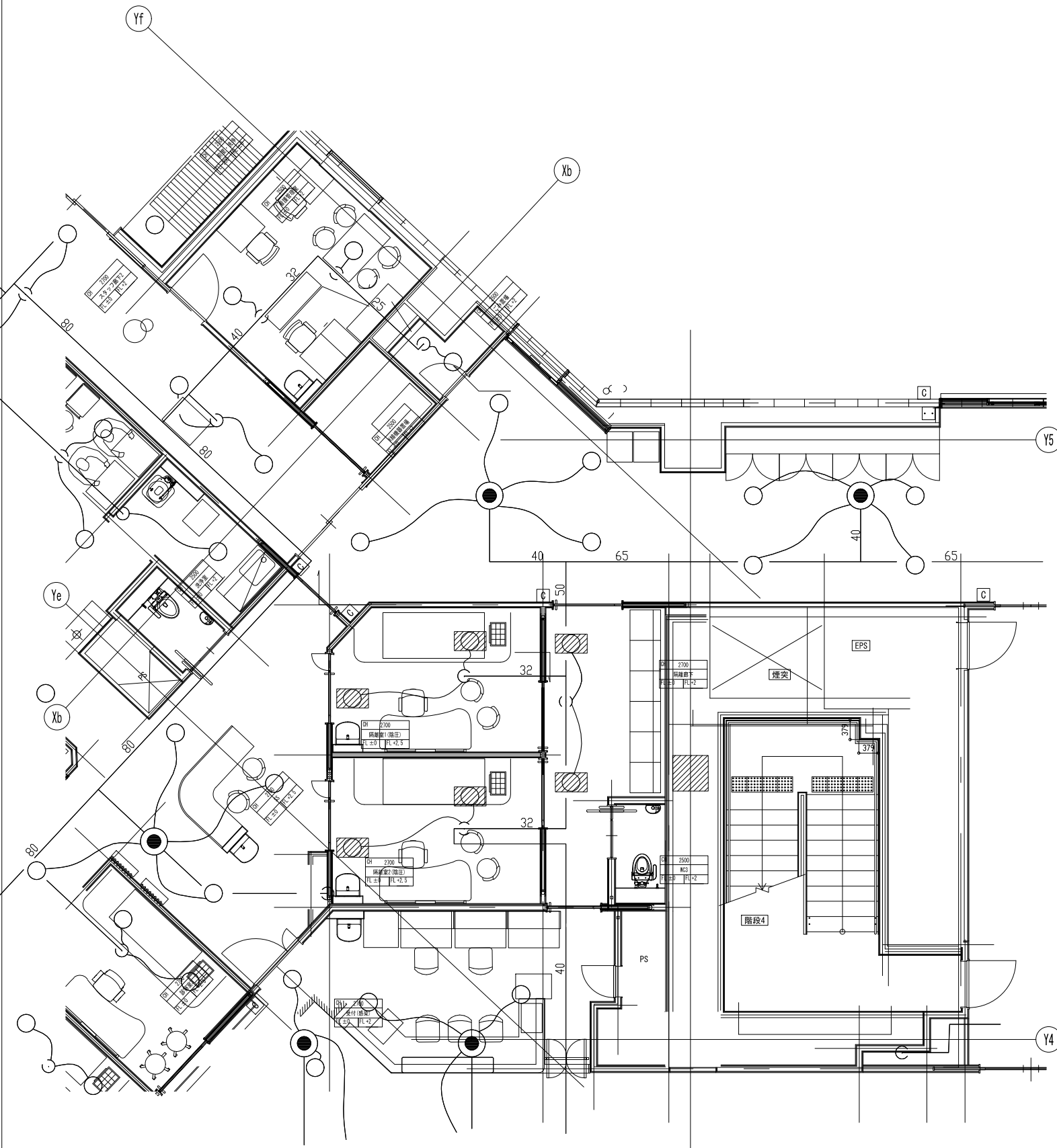
※破線(細線)を既存配管、実線(太線)を新設配管とする。

訂正	・
	・
	・
	・


**KUME**  
株式会社 久米設計

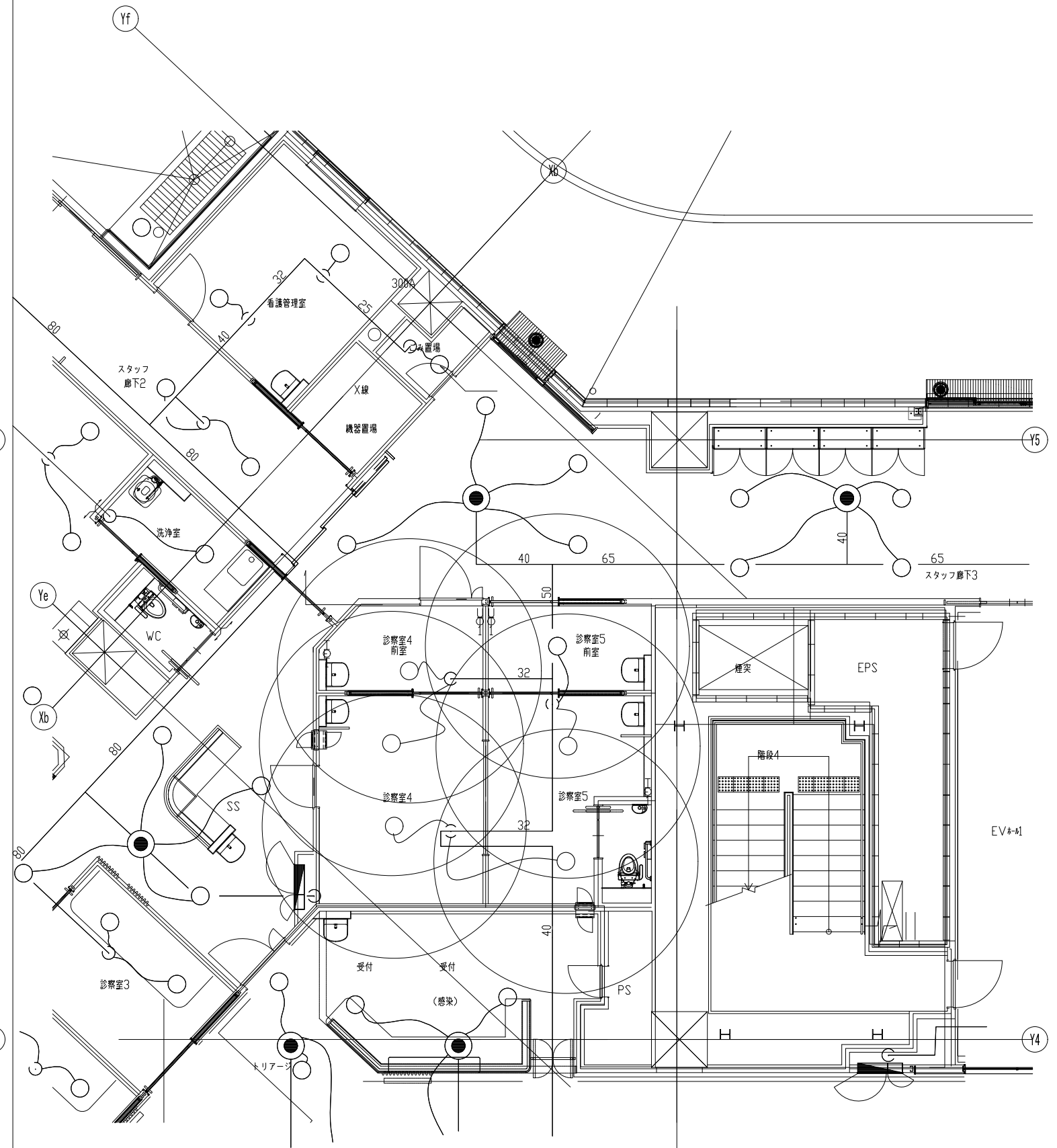
日付 2022年8月31日  
PA 小西 剛  
機井可奈

工事名	22小児医療センター ER隣接診療室改修工事	設計番号	0210354
図名	1階平面図(撤去・改修)	縮尺	A1判 1/50 A3判 1/100
図番		図名	PL-05



1階平面図(撤去) X4

凡例  
 移設スプリンクラーヘッドを示す  
 ※スプリンクラーヘッドの破損等、養生に注意し施工すること。



1階平面図(改修) X4

1. 配管工事

1-1 配管材料

ガスの種類	配管	継手仕様	備考
酸素	リン脱酸銅継目無管	左記銅管による形成品	支持金具と銅管が直接接触しないよう
笑気	(JIS H 3300 C1220T Lタイプ)	JIS H 3401 銅及び銅合金の管継手	銅管用吊金具を使用する。
治療用空気	ガスの使用区分に応じた着色熱収縮性チューブを	JIS H 3250 銅及び銅合金棒C1100,	
吸引	被覆したものとす。	C3602, C3712, C3771	
感染吸引			
炭酸ガス			
窒素			
非治療用空気			
麻酔ガス排除			
吸引	配管用炭素鋼管 (JIS G 3452) の白ガス管	JIS B 2301 ねじ込み可鍛鉄製管継手	機械廻りの配管に使用する。

1-2 配管の支持間隔

呼称管径 (mm)	<20	20~50	>50
支持間隔 (m)	1.5 以内	2.0 以内	3.0 以内

曲部及び分岐箇所は必要に応じて支持する。

1-3 配管の識別表示

隠蔽部は着色熱収縮性チューブ被膜銅管を使用する。各識別色は下記による。  
機械室露出部分は下記の識別色にて塗装を行う。

配管色別	酸素	笑気	治療用空気	吸引	感染吸引	炭酸ガス	窒素	麻酔ガス排除	非治療用空気
色別	緑	青	黄	黒	黒	橙	灰	マゼンタ	うす黄

1-4 配管のろう付け

銅管のろう付け作業は、配管内部の酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を送気しながら行うものとする。

1-5 配管方式

配管は屋外液酸タンク、屋外ボンベ室、地下1階機械室、配管トレンチ及びP.S内を除き天井内隠蔽壁内埋込配管とする。

1-6 配管端末器（アウトレット）

配管端末器はガスの種別による着色が施されていて、保守点検用バルブ機能付きとする。また、異なる種類のガスの誤接続を防止するためのガス別特定の構造とする。  
配管端末器の種類は、壁取付型、天井吊下型、メディカルユニットがある。

2. 検査・試験

2-1 配管系統検査

配管工事完了後、各配管ごとに系統に誤りのないことを確認する。

2-2 配管気密試験


気密試験の圧力及び時間は下表による。

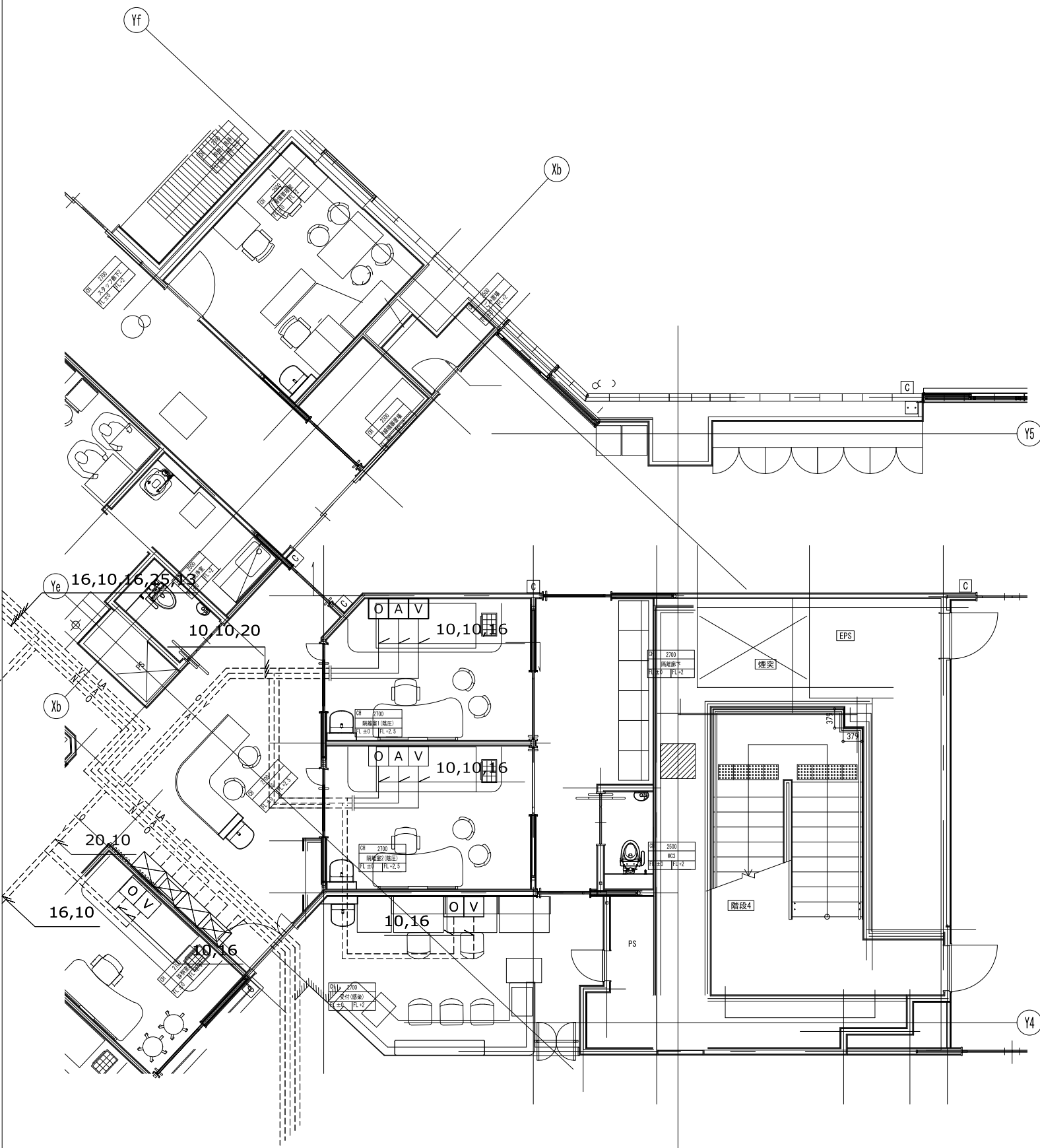
配管名	配管気密試験			総合気密試験（排気を除く）		
	圧力 MPa	時間 h	使用ガス	圧力 MPa	時間 h	使用ガス
酸素	1	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気	0.4	24	窒素又は 清浄な脱脂 空気又は 吸引圧
笑気	1	24		0.4	24	
治療用空気	1	24		0.4	24	
吸引・感染吸引	0.5	2		-0.05 *	2	
炭酸ガス	1	24		0.4	24	
窒素	1.5	24		0.9	24	
麻酔ガス排除	0.2	2		0.1	1	
非治療用空気	1	24		0.4	24	

\*試験を陽圧で行う場合は、試験圧力を0.1MPaとする。

2-3 配管内清浄度検査

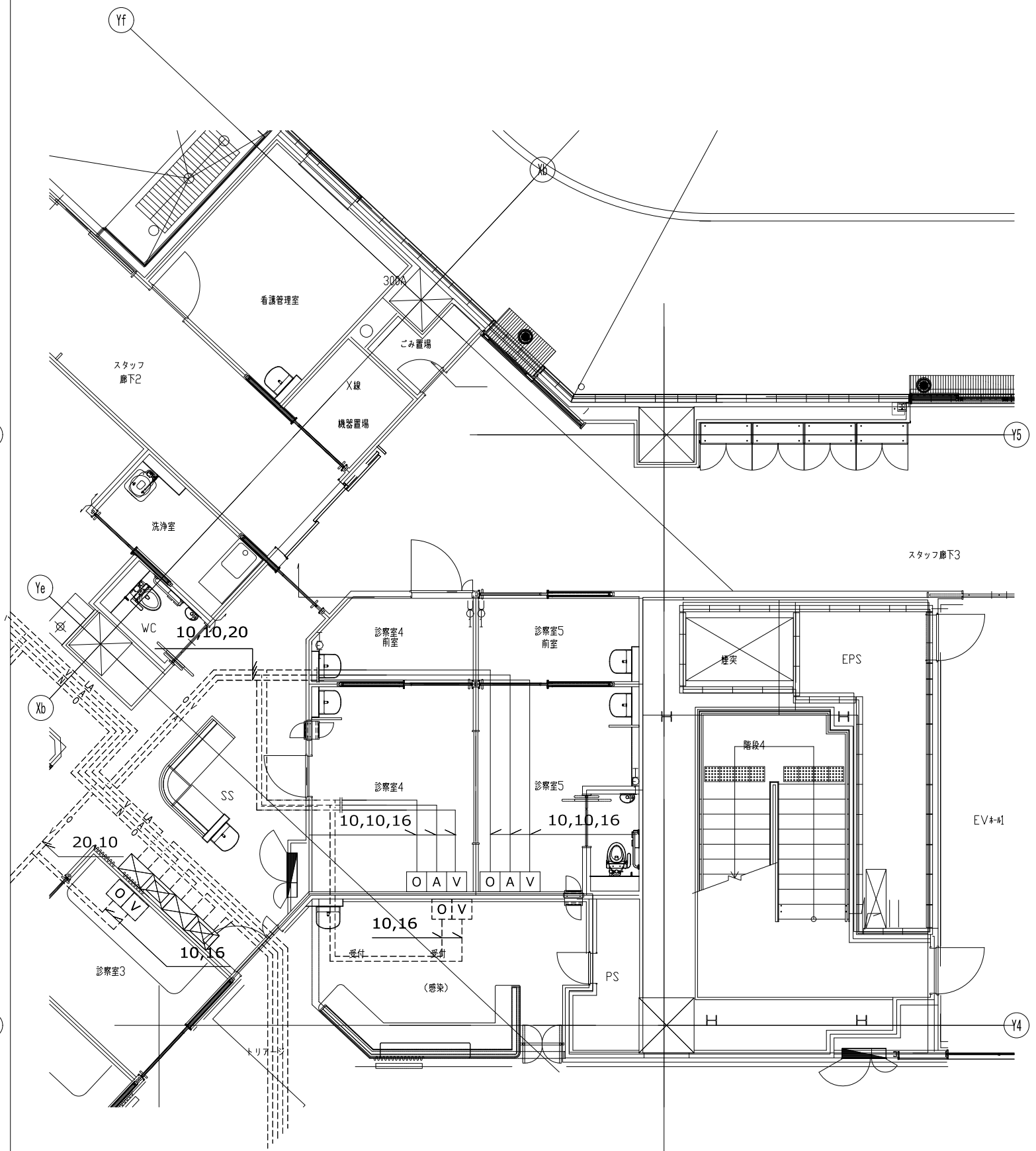
施工した配管内に微小物質の有無について検査する。但し、吸引及び麻酔ガス排除配管は除く。

訂正	・		日付	2022年8月31日		件名	22小児医療センター ER陰圧診療室改修工事	設計番号	0210354	
	・		PA	小西 剛 確認						
	・		製図	横井可奈						
	・						図名	医療ガス設備 仕様書	縮尺	A1判 - A3判 -
	・								図番	PL-07



1階ダクト平面図(撤去) X4

※破線(細線)を既存配管、実線(太線)を撤去配管とする。  
 ※医療ガスアウトレット(壁埋め込み型配管末端器樹脂パネル)×2は撤去とする



1階ダクト平面図(改修) X4

※破線(細線)を既存配管、実線(太線)を新設配管とする。  
 ※医療ガスアウトレット(壁埋め込み型配管末端器樹脂パネル)×4は新設とする

01	1	
02	1	
03	1	
04	1	
05	1	

**KUME** 株式会社 久米設計

日付	2022年8月31日
PA	小西 剛 操盤
担当者	横井可奈

図名	22小児医療センター ER隠圧診療室改修工事	設計番号	0210354
図号	医療ガス設備 1階平面図(撤去・改修)	縮尺	A1判 1/50 A3判 1/100
図番		図番	PL-08